

令和3年度 北海道原子力防災総合訓練の実施結果について

1 訓練日時

令和3年(2021年)10月28日(木) 8:30～14:30

2 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村(道及び13町村)

3 参加機関

避難先など23市町村、内閣府、北海道電力(株)、陸上自衛隊北部方面隊、第一管区海上保安本部、北海道開発局、札幌管区气象台、北海道警察、消防機関、(一社)北海道バス協会、(公社)北海道国際交流・協力総合センターほか 合計約340機関

4 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下において、後志地方が台風による暴風雨に見舞われる中、同時に、北海道電力(株)泊発電所3号機において、設備故障により、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉の冷却が不能となったことにより、原子力災害が発生。

5 訓練結果(主なもの)

(1) 意思決定訓練

項目	主な実施内容
■ オフサイトセンター運営訓練	○ 関係機関の要員が参集し、防護措置の検討・調整を実施(一部ブラインド方式により実施) [国、自治体、実動組織など 計32機関 137人]
■ 災害対策本部等運営訓練	○ 道、町村の災害対策本部の設置・運営 [道の本部員会議: 3回開催]

(2) 実動訓練 ※住民参加は行わず、役場職員等(合計44名)が住民見立てとなって避難手順等を確認

項目	主な実施内容												
■ 住民避難訓練 住民広報	○ 感染症対策を講じたバス等による避難 <table border="1" data-bbox="555 1137 1353 1370"> <thead> <tr> <th>町村名</th> <th>避難実施車両</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泊村</td> <td>福祉車両1台</td> </tr> <tr> <td>共和町</td> <td>バス1台、福祉車両1台、普通自動車1台</td> </tr> <tr> <td>倶知安町</td> <td>バス2台、ヘリ1台</td> </tr> <tr> <td>仁木町</td> <td>バス1台、装甲車2台</td> </tr> <tr> <td>赤井川村</td> <td>バス1台</td> </tr> </tbody> </table>	町村名	避難実施車両	泊村	福祉車両1台	共和町	バス1台、福祉車両1台、普通自動車1台	倶知安町	バス2台、ヘリ1台	仁木町	バス1台、装甲車2台	赤井川村	バス1台
町村名	避難実施車両												
泊村	福祉車両1台												
共和町	バス1台、福祉車両1台、普通自動車1台												
倶知安町	バス2台、ヘリ1台												
仁木町	バス1台、装甲車2台												
赤井川村	バス1台												
避難経路迂回路誘導訓練	○ 避難経路が急きょ通行止めとなった場合を想定し、代替経路の調整や警察官による車両誘導を実施(ブラインド方式により実施) [共和町車両3台を倶知安町内で誘導]												
台風に伴う避難所の開設・運営訓練	○ 感染症対策を講じた避難所の開設・運営 [倶知安町]												
孤立地域を想定した救出訓練	○ 実動機関による孤立地域からの住民の救出救助 ・ヘリによる吊り上げ救助 [倶知安町] ・装甲車による救出 [仁木町]												
要配慮者避難訓練	○ 社会福祉施設や学校など要配慮者施設との通信連絡 ○ 在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避 [泊村、共和町]												
住民広報訓練	○ HP、Twitterによる多言語での情報発信、広報車等による住民広報												
外国人避難者相談対応訓練	○ 避難所の外国人とオンライン等による多言語での相談対応を実施 [外国人10人に5カ国で対応]												
■ 原子力災害医療活動訓練	○ 避難退域時検査及び簡易除染 [場所: キロロリゾート 検査車両台数: 17台 検査人数: 40名]												
■ 緊急時環境放射線モニタリング訓練	○ モニタリングカー等による放射線モニタリング活動 [要員52名]												

6 今後の対応

- ・訓練の様子を動画にし、HPで公開するなど、住民の原子力防災対策に関する理解促進に取り組む。
- ・有識者専門委員による訓練評価や参加機関に対する事後調査等を通じて課題等を整理し、訓練報告書を取りまとめるとともに、今後の訓練や防災対策に反映する。